

TPPは あなたの生活の さまざまな分野に 影響する問題です。

「食の安全・安心」 脅かされる食の安全と安心

- 残留農薬の規制緩和
- ポストハーベスト（収穫後使用農薬）の規制緩和
- 遺伝子組み換え食品の輸入拡大
- BSE（牛海綿状脳症）のリスクがある牛肉の輸入などのおそれがあります。

「医療」 医療の質の低下、患者の負担増

- 営利企業の参入や高額な保険外診療の増加などにより、国民皆保険制度が崩れ、医療費が高騰
- 医師・看護師の都市部への集中や、不採算地域から病院が撤退することにより地域医療が崩壊
- 薬価の決定プロセスに外国企業が関与することにより、薬価が高騰などのおそれがあります。

「食料・農林漁業」 国内農林漁業が大打撃を受け、農林水産物の生産量が激減

- わが国における農林水産物の生産減少額は、全体で約3兆円。食料自給率は39%から27%に低下（政府統一試算）
- 島根県における生産減少額は、農産物272億円、林産物（合板等）31億円、水産物22億円（島根県農林水産部試算）
- 農林漁業生産が失われると、美しい農村景観や地域の伝統文化などの農業・農村の多面的機能も喪失などのおそれがあります。

「建設産業」 地方公共調達への外国企業等の参入で地方建設業界は疲弊

- WTO協定の適用基準額が低くなり、地域要件が設定できた公共工事に、国内外から多くの企業が地方に参入することになれば、地域の建設業界の経営に大打撃
- 低賃金労働者の流入による雇用や地域経済への影響
- 地域建設業界の役割である災害や除雪、また、今後増大する公共施設の維持管理など地域の安全・安心な生活を確保するための事業が停滞
- 社会インフラの品質（技術力）低下などのおそれがあります。